

2025 年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学専攻

共通外国語試験問題〔英語〕（一般用）

試験日：2025 年 2 月 3 日（月）

試験時間：9 時 30 分～10 時 30 分

【注意事項】

1. 英語圏言語文化専修志願者（留学生を含む）は、この問題を選択することができません。
2. 解答はすべて答案用紙に記入すること。
3. 答案用紙は問題番号□1・□2のそれぞれに用意されています。用紙を間違えずに解答を記入すること。

- 1 次の英文を読み、下線部（１）、（２）を和訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(Adapted from Alice Crawford ed., *The Meaning of the Library*, 2015)

2 次の英文を読み、下線部（１）、（２）を和訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(Adapted from Michelle Nijhuis, "The Digital Planet,"
The New York Review of Books, 2024)

2025 年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学専攻

共通外国語試験問題〔英語〕（外国人留学生用）

試験日：2025 年 2 月 3 日（月）

試験時間：9 時 30 分～10 時 30 分

【注意事項】

1. 英語圏言語文化専修志願者（留学生を含む）は、この問題を選択することができません。
2. 解答はすべて答案用紙に記入すること。
3. 答案用紙は PART ONE と PART TWO のそれぞれに用意されています。用紙を間違えずに解答を記入すること。

2025 年度大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程

比較社会文化学専攻

外国人留学生入学試験問題 英語

PART ONE Read the following passage and answer the questions in English on the answer sheet.

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(Adapted from Elizabeth Mulvahill, “Understanding Intrinsic vs. Extrinsic Motivation in the Classroom”, *We Are Teachers*, 2018)

I. For questions (1)-(10), choose the most appropriate word, and write that word on the answer sheet.

- | | | |
|------|----------------------------|--------------------------|
| (1) | aligning
imagining | engaging
opening |
| (2) | categorization
position | combination
tradition |
| (3) | accomplishment
tension | explanation
worry |
| (4) | adverse
intentional | excellent
ordinary |
| (5) | attraction
claims | basics
downside |
| (6) | adored
provided | excited
welcomed |
| (7) | compare
predict | force
try |
| (8) | available
preventable | correctable
removable |
| (9) | boredom
incentive | gadget
review |
| (10) | shortcuts
tragedy | territory
traps |

II. Answer the following questions in your own words in English on the answer sheet.

- (1) What are the differences between intrinsic and extrinsic motivation?
- (2) Why might extrinsic motivation sometimes be helpful for students?

PART TWO Discuss the following statement in an English essay of about 250 words:
Working in teams can increase motivation.

2025年度 お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学専攻・日本語日本文学コース

（入試区分） 一般入試

（科目区分） 専門試験

試験日： 2025年 2月 3日（月）

試験時間： 11時0分 ～ 13時0分

試験問題 A

【注意事項】

- 1 一般受験生は、この試験問題 A について解答すること。
- 2 答案用紙それぞれに、受験番号・氏名を記し、各問は所定の用紙にそれぞれ解答せよ。

2025年度 人間文化創成科学研究科博士前期課程

比較社会文化学専攻日本語日本文学コース 専門試験問題A (一般入試用)

I 次の①・②のうち、一問を選択して答えよ。ただし、入学後日本文学を専門とすることを希望する者は①を、日本語学を専門とすることを希望する者は②を選択すること。また、選択した問題番号を答案用紙に記すこと。

①日本文学の中で、「食」はどのように描かれているか。複数の時代の作品から例を挙げつつ論ぜよ。

②日本において、宗教(宗教関係者を含む)と言語の研究が密接に関わった例を二つ挙げよ。時代や、代表的な資料名も挙げつつ、具体的に説明すること。

II 次の①～⑩の事項のうち、任意の六個を選び、簡潔に説明せよ。選択した問題の番号を、答案用紙の□に記入すること。六個を超えて解答した場合は、全体を無効とする。

- | | | | |
|-----------|------------|--------|-------------|
| ①久保田万太郎 | ②開合 | ③雄略天皇 | ④「今昔物語集」の構成 |
| ⑤ポライトネス理論 | ⑥修羅物(二番目物) | ⑦「可笑記」 | ⑧「桜の実の熟する時」 |
| ⑨岡本かの子 | ⑩大槻文彦 | ⑪中間小説 | |

III 次の文章は、中国を舞台とする物語の一部で、国王の死に乗じてクーデターを起こした燕王の、最強の軍隊の將軍をうち倒した国王妃が、今すぐ首都に戻って燕王を倒すべきことを臣下たちに対して説得する部分である。これを読んで以下の問いに答えよ。

「我おろかにいやしき女の身、いとけなき齡にして、かたじけなく賢き君に仕うまつることを許され、身に余る位に備はりて、十返りの春秋を送りしかど、牝鶏の朝する戒めを恐れて、A掖庭のせびき身の上のことをだに、君のみことのりに非ずして、一つ事詞を加へ行はざりき。今、はからざるに国の悲しびに逢ひて、越女の思ひに死ぬる跡を追はぬ過ちによりて、乱るる国の恥を受く。臣下の中にその人を選びて、国の政を授くべきに、帝の御病の床の許に、顧命を受け給ひて、朝を助くべかりし人々は、逆臣の謀りごとによりて、横様に命を失ひ果てつ。この道に伴ふ人々は、おのおのその道を守らむとして、退く心のみあれば、器物にあらず。Bおろかに堪へぬ身にして、高き世にだに乱れし国の跡を追ひて、なまじひに、母后、朝に臨む名を盗まむとす。わざはひ速やかに、こと極まりぬれば、C返さひ定むるにだに及ばず。年頃、戒めを守りて、言葉を出ださねば、おろかに国を乱る謗りもあらじ。D短き心に大なることを図ること、ただ今日ばかりなり。宇文会、すでに身を滅ぼして、燕王、定めて手足を失ふごとくならむ。この時を過ぐさず帰り入らむに、さらに防ぎ戦ふものあらじ。若かじ、今日軍を進めて、速やかに長安の道に帰らんには。」

(『松浦宮物語』により、一部改変した。)

注 ○牝鶏の朝する―后妃が政治に介入することを戒める諺。 ○掖庭―後宮。 ○越女の思ひに死ぬる跡―楚王の妃が、危篤の王に先立って自殺した故事。 ○顧命―王が臨終に際して重臣に後のことを遺言すること。 ○宇文会―燕王の腹心の大將軍。 ○長安―帝都。妃たちはクーデターのため蜀山に逃げ延びていた。

(問題は二枚目に続く)

- 問四 傍線Dは臣下たちに何を訴えているのか、説明せよ。

IV 次の①・②のうち一問を選択し、選んだ問題番号を答案用紙に記した上で解答せよ。ただし、入学後日本古典文学を専門とすることを希望する者は①を、日本近現代文学を専門とすることを希望する者は②を選択すること。日本語学を専門とすることを希望する者は、①・②のうち任意の一方を選択すること。

①次の文を、原文通りに、現行の字体に書き改めよ。

10月25日 晴
 11月1日 晴

②近現代文学研究において、ポストコロニアリズムの考え方がもたらした影響について知るところを述べよ。

(專門試驗問題 A、以上)

2025年度 お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学専攻・日本語日本文学コース

（入試区分） 留学生入試

（科目区分） 専門試験

試験日： 2025年 2月 3日（月）

試験時間： 11時0分 ～ 13時0分

試験問題B

【注意事項】

- 1 留学生は、この試験問題Bについて解答すること。
- 2 答案用紙それぞれに、受験番号・氏名を記し、各問は所定の用紙にそれぞれ解答せよ。

2025年度 人間文化創成科学研究科博士前期課程

比較社会文化学専攻日本語日本文学コース 専門試験問題B (留学生入試用)

I 次の①・②のうち、一問を選択して答えよ。ただし、入学後日本文学を専門とすることを希望する者は①を、日本語学を専門とすることを希望する者は②を選択すること。また、選択した問題番号を答案用紙に記すこと。

①日本文学の中で、「食」はどのように描かれているか。複数の時代の作品から例を挙げつつ論ぜよ。

②日本において、宗教（宗教関係者を含む）と言語の研究が密接に関わった例を二つ挙げよ。時代や、代表的な資料名も挙げつつ、具体的に説明すること。

II 次の①～⑩の事項のうち、任意の六個を選び、簡潔に説明せよ。選択した問題の番号を、答案用紙の□に記入すること。六個を超えて解答した場合は、全体を無効とする。

- | | | | |
|-----------|------------|--------|-------------|
| ①久保田万太郎 | ②開合 | ③雄略天皇 | ④「今昔物語集」の構成 |
| ⑤ポライトネス理論 | ⑥修羅物（二番目物） | ⑦「可笑記」 | ⑧「桜の実の熟する時」 |
| ⑨岡本かの子 | ⑩大槻文彦 | ⑪中間小説 | |

III 次のうち、一問を選択して答えよ。ただし、入学後日本古典文学を専門とすることを希望する者は①を、日本近現代文学を専門とすることを希望する者は②を、日本語学を専門とすることを希望する者は③を選択すること。

①次の文章を読んで問に答えよ。

本三位^{しげひら}重衡、平氏盛りの頃、参内^{さんだい}の折から、帝より扇の地を賜りける時、A「ほととぎすを―羽描きたるを折らせられしに、あやまちて鳥を切りはなち、尾のみ残りたるへ、」歌よめ」と仰せありける時、
B「五月^{さつき}聞くらはし山^{やま}のほととぎす姿を人に見するものは」と詠みたり。
また、平氏没落の時、後藤兵衛尉^{もりつぐ}盛次に重衡逢ひ給ひて、「われ馬を射られたり。汝が馬を貸せよ」とありけるを、盛次^い否みて、「今われ敵と戦ふの時なり。C「逃げ延び給ふには、かちにてもありなん。これは雨夜の唐傘なり。貸し参らせじ」とて、走り行きて戦へりとぞ、ある人語り伝へたり。
(『雲萍雑誌』により、一部改めた。)

注 ○重衡―平重衡。平氏の武将。 ○扇の地―扇の画面に貼る紙。絵や和歌などを書いた。扇を折りたたむのでここでは「折る」と言っている。 ○くらはし山―大和国（現在の奈良県）の歌枕。

問一 傍線A「ほととぎす」は日本の古典ではどういう鳥とされているか、説明せよ。

問二 傍線B「五月聞くらはし山」の部分に用いられている修辞技巧は何か。

問三 「五月聞」の和歌は、帝から与えられた条件にどのように答えたものか、説明せよ。

問四 傍線C「逃げ延び給ふには、かちにてもありなん」を現代語訳せよ。

(問題は二枚目に続く)

(専門試験問題 B、続き)

- ② 近現代文学研究において、ポストコロニアリズムの考え方がもたらした影響について知るところを述べよ。
- ③ 音素文字と音節文字と表語文字は、どのように異なっているのか。例を挙げつつ説明せよ。

(専門試験問題 B、以上)

2025年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻 ・ アジア言語文化学 コース

（一般入試・外国人留学生入試）

（専門試験）

試験日 : 2025 年2月3日(月)

試験時間 : 11 時 00 分 ～ 13 時 00 分

【注意事項】

1. 監督者の「はじめ」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 答案用紙の解答番号欄にⅠ、Ⅱ、Ⅲを記入して解答すること。
4. すべて日本語で解答すること。

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい（日本語で解答すること）。

有唐三百年詩、衆體備矣、故有往體、近體、長短篇、五七言律句絶句等製、莫不興於始、成於中、流於變、而殫之於終、至於聲律興象、文詞理致、各有品格高下之不同、略而言之、則有初唐、盛唐、中唐、晚唐之不同、詳而分之、貞觀、永徽之時、虞、魏諸公、稍離舊習、王、楊、盧、駱、因加美麗、劉希夷有閨帷之作、上官儀有婉媚之體、此初唐之始製也、神龍以還、洎開元初、陳子昂古風雅正、李巨山文章宿老、沈、宋之新聲、蘇、張之大手筆、此初唐之漸盛也、開元、天寶間、則有李翰林之飄逸、杜工部之沈鬱、孟襄陽之清雅、王右丞之精緻、儲光羲之真率、王昌齡之聲俊、高適、岑參之悲壯、李頎、常建之超凡、此盛唐之盛者也、大曆、貞元中、則有韋蘇州之雅淡、劉隨州之開曠、錢、郎之清贍、皇甫之沖秀、秦公緒之山林、李從一之臺閣、此中唐之再盛也、下暨元和之際、則有柳愚谿之超然復古、韓昌黎之博大其詞、張、王樂府、得其故實、元、白序事、務在分明、與夫李賀、盧仝之鬼怪、孟郊、賈島之饑寒、此晚唐之變也、降而開成以後、則有杜牧之之豪縱、溫飛卿之綺靡、李義山之隱僻、許用晦之偶對、他若劉滄、馬戴、李頻、李羣玉輩、尚能黽勉氣格、將邁時流、此晚唐變態之極、而遺風餘韻、猶有存者焉、

（高櫟「唐詩品彙總叙」より）

問 1. 下線部「五七言律句絶句」の韻律（音韻上の規律）について知るところを簡明に書きなさい。

問 2. 下線部「元和」について、この時期の文学の特質について述べよ。

問 3. 下線部「王、楊、盧、駱」「李翰林」「杜工部」のそれぞれについて、知るところを簡明に書きなさい。

II

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(傅玉《英汉省略结构的形式对比研究》より一部改変して用いる)

問 1. “伪饰动词省略”と“传统动词短语省略”がともに持つ特性と持たない特性を、本文中の例を用いて日本語で説明しなさい。

問 2. “是”と“do”は同じものと言えるか、本文の主張に対するあなたの意見を日本語で述べなさい。

Ⅲ

問 1. 20 世紀以降の中国文学について、「政治」と「文学」のかかわりがどのようなであったか、論じよ。

問 2. 以下の語句について、知るところを述べなさい。

- (1) 張愛玲
- (2) 老舍
- (3) 文芸講話
- (4) 林紓（林琴南）
- (5) 意識の流れ

2025 年度

お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科
博士前期課程

比較社会文化学専攻
日本語教育コース

専門試験

問題用紙

(この問題用紙は、試験終了後持ち帰っても構いません。)

解答は全て答案用紙(別添)の該当する箇所に記入すること

全3ページ(表紙を含む)

1. 以下の(1), (2), (3), (4), (5)の五つの問題の中から三問を選び、答えなさい。

三問より多く選んではいけません。(20 点×3)

- (1) 気づき仮説 (Noticing Hypothesis) について説明し、仮説が第二言語習得研究、特に教室での指導に関する研究にもたらした影響について具体的に述べなさい。次に、それらの第二言語習得研究の知見は、日本語教育の現場にどのように応用できるか、想定する日本語学習者の特徴 (年齢や学習環境など) を述べた上で、論じなさい。
- (2) 「日本語教育の参照枠」とは何かについて、取りまとめられた背景や期待される効果、言語教育観の柱を中心に説明しなさい。また、「日本語教育の参照枠」が有する課題についても論じなさい。
- (3) ポライトネスに関する理論を一つ選び、詳しく説明した上で、下記の発話を、選んだポライトネスに関する理論の観点から分析しなさい。

Aさんは日本の大学で勉強している留学生です。大学生活と両立しながらカフェでアルバイトを始めました。初出勤の日、同じシフトに入っている日本人の先輩スタッフ (年齢はAさんより少し上) に、自己紹介の後に「日本語、上手ですね」と褒められました。

- (4) 1990年代以降、(広義の) SLA 研究では、社会的転回 (social turn) と呼ばれる新たな流れが生まれ、その後の研究に大きな影響を与えた。社会的転回とは何か、それはいかなる学術的・社会的背景から生まれたかを述べた上で、それが SLA 研究に何をもたらしたかを、具体的な先行研究に言及しながら論じなさい。
- (5) 「複言語主義・複文化主義 (plurilingualism / pluriculturalism)」とは何かについて、「多言語主義・多文化主義 (multilingualism / multiculturalism)」との違いが明確になるように説明しなさい。その上で欧州が二度の大戦の悲劇を克服するための言語教育の理念として、この考えに行き着いた理由について述べなさい。

2. 以下の(1)～(10)の用語の中から五つを選び、簡潔に説明しなさい。

五つより多く選んではいけません。(8点×5)

- (1) 関係節化の可能性の階層 (Noun Phrase Accessibility Hierarchy, NPAH)
- (2) 標準偏差
- (3) 動詞枠づけ言語 (V 言語) と衛星枠づけ言語 (S 言語)
- (4) ディクトグロス (Dictogloss)
- (5) 加算的バイリンガリズム (Additive Bilingualism) と減算的バイリンガリズム (Subtractive Bilingualism)
- (6) 社会言語学におけるドメイン (domain)
- (7) 伝達能力 (Communicative Competence)
- (8) 批判的談話分析 (Critical Discourse Analysis, CDA)
- (9) (動機づけとしての) メタファー
- (10) 実践コミュニティ

2025年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻 ・ 思想文化学 コース

（一般入試・外国人留学生入試）
（専門試験）

試験日： 2025年2月3日（月）

試験時間： 11時00分～13時00分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 哲学か倫理学か、入学願書で選択した分野の問題に解答すること。

2025 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
比較社会文化学専攻 思想文化学コース 専門試験

（倫理学）

次の 2 つの問に答えなさい。なお、問ごとに答案用紙を分けること。

問 1

神について、倫理的・倫理思想史的観点から論じなさい。

問 2

次の用語の中から 2 つを選び、解説しなさい。

実存主義 ストア派 西方極楽浄土 柳田國男 心の機能主義 Modus tollens

2025年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科 (博士前期課程)

比較社会文化学 専攻・ 歴史文化学 コース

一般入試

日本史・専門科目試験

試験日: 2025年 2月 3日(月)

試験時間: 11時00分～13時00分

【注意事項】

- 1 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
- 2 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
- 3 答案用紙三枚にはいずれも答えを縦書きにし、「(一)」については一枚、
「(二)」については解答する問題ごとに一枚使うこと。
それぞれ裏面まで使ってよい。
- 4 「(二)」の問題を選択するにあたっては、受験者自身が専攻を希望する時代の問題を、
少なくとも1つは含めること。

2025年度 大学院入学試験問題 (日本史)

(一) 次の項目から三項目を選んで、それぞれの歴史的意義を顧慮しつつ、知るところを記しなさい。ただし、解答は一つの用語につき、答案用紙の三～五行程度を目安に記述すること。

(1) 平城京

(2) 御成敗式目

(3) 蔵屋敷

(4) 幣原喜重郎

〔二〕 次の四題のうち、二題を選んで解答しなさい。

（１） 次の史料を読んで、以下の問いに答えなさい。

① 太政官符

禁_三断_②京職畿内諸国私作_二伽藍_一事

右_①奉_レ勅。定額諸寺。其数有_レ限。私自營作。先既立_レ制。比来所司寛縦曾不_二糾察_一。

① 如_レ經_二年代_一無_二地不_一寺。自今以後。私立_二道場_一。及將_二田宅園地_一捨施。并売易与_レ

寺。②主典以上解_二却見任_一。自余不_レ論_③陰贖_一決_二杖八十_一。官司知而不_レ禁者亦与同罪。

延暦二年六月十日

（『類聚三代格』延暦二（七八三）年六月十日太政官符）

問 1 波線部⑦～⑨をすべてひらがなで書き下しなさい。

問 2 傍線部①～③の語句の意味を説明しなさい。

問 3 この史料で禁止されたことは何か。また、その罰則は何か。それぞれ史料の内容を踏まえ、具体的に説明しなさい。

(2) 次の史料を読み、以下の問いに答えなさい。

廿日、天晴、此間武家知行国衙等如旧可為公家御沙汰之旨 奏聞
之由、自或武^{其内上野国在之云々、}辺内々告示之間、付菊^憲第前右府〈兼季公〉・按察中
納言等、上野国事家君被申之处、入夜 □△到来、当国自土御門
大納言〈通方〉殿五代相統重任之国也、而先御代^上国家草創之後、
不可有相伝之由、及其沙汰之間、連々雖被敷申、替地事如形被進
之、終不被返付之处、今度及此沙汰、自愛無極者也、
□△案^{上野国}可令知行給之由、
院御氣色所候也、經顯恐惶謹言、

建武五年七月廿日 按察使判

進上 三条坊門殿

此事、家君御所望以前及其沙汰云々、就其為按察中納言可召進使者之
由被仰下、被遣之处、通冬昇進事可有其沙汰、就其大^上理事、正慶
令拝任了、近日曾無其人、必可申領状之由、被仰下之間、於昇進^上
者畏入候、於顯職者不諧、旁難義非一之由申入了、当国代々関東
吹挙之地也、当家重任異他者也、

出典：『中院一品記』建武五年（暦応元年、一三三八）七月二〇日条（『大日本古記録 中院一品記上』
（岩波書店、二〇一八年）五、六頁）。山括弧（ ）は割書を示す。出題にあたって一部改変した
箇所がある。旧字体は新字体に適宜改めた。

註：菊第前右府：今出川兼季。

・按察中納言：勅修寺経顯。

・家君：中院通顯。『中院一品記』記主中院通冬の父。「三条坊門殿」とも呼ばれた。

・土御門大納言：中院通方。中院家初代当主。

・院：光厳上皇。

・通冬昇進事：通冬の参議から中納言への昇進のこと。

・不諧：窮乏すること。

『大日本古記録 中院一品記 上』
（東京大学史料編纂所蔵）を改変

- 問 1 傍線部イを、「武家」と「公家」が指すものを明確にしながら解釈しなさい。
- 問 2 傍線部ロを、「先御代」が指す人物を明確にしながら解釈しなさい。
- 問 3 傍線部ハを、全文ひらがなで読み下しなさい。
- 問 4 傍線部ニは、ある官職の唐名である。日本での官職名を答えなさい。
- 問 5 傍線部ホを、言義を補いながら解釈しなさい。
- 問 6 傍線部ヘは、ある政権の呼称である。その政権名を答えなさい。
- 問 7 史料中に二箇所ある「□△」には、同一の古文書の様式名が入る。その様式名を答
えなさい（漢字二文字）。

(3) 次の史料を読み、以下の問いに答えなさい。

(マ) 乍恐以書付を以奉申上候

御領分笛倉・押沼・小内右三ヶ村役人共
奉申上候、右三ヶ村用水溜井水保方
不宜、一同難渋仕候間、天保九戌年十月中
新溜井築立、順水¹仕候上者、古田者
勿論、畑田²成³追々出来可仕候二付、
新溜井築立御入用御下ケ
奉願上、然ル上者古溜井之義者不用二
相成候間、右三ヶ村申合、追々新開田二
仕、右御用途江上納仕度段奉願上候処、
新溜井普請御入用御下ケ相成
難有奉存候、右古溜井敷追々
開発仕、田成熟田仕候間、當申年
御定免³御切替二付、御見分之上
御縄⁴壹反六畝十七歩頂戴仕、
御検地帳御下被成下、御取箇
相究、難有仕合奉存候、然ル處
先般右三ヶ村江右田成望之者
御座候ハ、御拂可被 仰付旨被

仰渡候間、篤与申談仕候處、笛倉村

百性^(延)新蔵与申者、金三拾五両二而

御拂被 仰付下置度奉願上候、
(蔵カ)

其外三ヶ村ニおゐて御拂望申者

壹人茂無御座候間、右新蔵江御拂

被 仰付候上者、聊於^右三ヶ村茂

故障亦無御座候間、右願之通

御聞濟被成下置候ハ、一同難有

仕合二奉存候、然ル^上右代金三拾五両

之内當金貳拾五両上納仕、殘金拾両之

義者来ル酉年二月限り急度上納

可仕候、此段茂御聞濟被成下候様

奉願上候、以上

萬延元年申 御領分笛倉村

閏三月十四日 百性

新蔵^(印)
名主代
与頭善左衛門^(印)
押沼村
与頭九左衛門^(印)
小内村
名主彦五郎^(印)

勝浦
御役所

1 順水 用水路に水が流れ、
耕地に行きわたること。2
畑田成 検地帳の登録上、
畑であったものが田になる
こと。3 定免 収穫のたび
ごとに毎年年貢率を決める
のではなく、過去の年貢量
を平均するなどして、数年
単位で年貢率を一定にして
年貢を徴収する方法。笛倉
村では五年単位で年貢率が
みなおされた。4 御縄 田
畑などの検地を受けること。

(森下徹・吉田伸之編『史料を読み解く 2 近世の村と町』山川出版社、二〇〇六年。35く36頁。引用にあたり一部改変した。)

問1 笛倉・押沼・小内の三か村は用水をめぐり、天保九年にどのようなことを領主に願い出たか。またその結果、どうなったか。簡潔に述べなさい。

問2 問1の出願に妥当性を持たせるために、三か村はどのような論理を展開しているか。具体的に述べなさい。

問3 「古溜井」について、万延元年にどのようなことが領主によって行われたか。この文書の作成時点で確定していたことについて、具体的に述べなさい。

問4 三か村は万延元年にどのようなことを領主に願い出たか。大きく二点について具体的に述べなさい。

問5 傍線部を読み下し、すべて「ひらがな」で記しなさい。

(4) 次の各史料を読んで、以下の問いに答えなさい(史料中、句読点等その一部を改変した)。

【史料1】明治十六年七月二十三日、福沢諭吉の論考(『時事新報』掲載)

日本の^①文明開化は少しく急進に過ぎたりとて、近來世間に一種の議論を生じ、其主張する所を聞けば、新様の廃す可きは之を廃し、旧物の復す可きは之を復し、漫に輕躁浮薄に走らざるを以て旨とするものゝ如し。又其実際に現はれたる所を見れば、旧き漢学も廃す可きに非ずとて儒教主義を再興し、漢学再興すれば古学医流の死灰も亦再燃し、洋食洋服以て洋風の家居るも殺風景なりとて漸く旧時の日本流に復り、琴棋書画骨董の遊樂は朝野上流の社会に行はれて、家庭の教訓には仁義忠孝を語り、春風秋月には詩歌の清会を催ふ等、人間万事古雅にして然かも其情の優しきは安樂太平の世に至極神妙のことにして見苦しからず。亦是れ文明の徴なれば、我輩固より異議なしと雖ども、一利あれば之に伴ふ一害を見るも人事の常にして、漢学再興と云へば不学無術の古学者流が漢字を教ふるの傍に奇妙なる支那主義を説て直接間接に文明開進の妨を為し、春風秋月の樂に乗ずれば物理の美数を忘却して、琴棋書画の風韻は器械学の元素と全く相反対し、開明多事の日には有為の少年輩を誤るもの甚だ多し。事物の弊害を免るゝの難き、以て知る可し。

左れば急進の新様を棄て、旧物を復す可きを復するは我輩の賛成する所なれども、之を棄て之を復するの際に全く弊害なきものを択ぶは、我輩の最も賛成して之を聞見するも欣喜に堪へざる所のものなり。(慶應義塾編『続福澤全集』第一巻、岩波書店、一九三三年、四八七頁)

【史料2】明治二十三年二月二十七日、高崎五六(各府県知事総代・東京府知事)意見書

(内閣総理大臣兼内務大臣山県有朋宛)

②普通教育ノ要ハ主トシテ国民タルノ徳性ヲ涵養シ普通ノ智識芸術ヲ修メシムルニ在リ。然ルニ現行ノ学制ニ依レバ智育ヲ主トシテ専ラ芸術智識ノミヲ進ムル事ヲ勉メ、德育ノ一点ニ於テハ全ク欠クル所アルガ如シ。故ニ小学ニ就学セル子弟ノ情况ヲ見ルニ、少シク博物ノ学理ヲ聴キ数学ノ初歩ヲ修メバ忽チ其智識芸術ニ誇リ、父兄ヲ輕蔑スルノ心ヲ生ジ、輕躁浮薄ノ風ヲ長ズ。其進ンデ高等小学校ヲ卒業スル者ノ如キハ、往々父祖ノ業ニ従事スル事ヲ屑シトセズ、或ハ官吏タラント欲シ、或ハ政事家タラン事ヲ志シ、尚進ンデ中学ニ入ルニ及ンデハ、未ダ其科程ノ半ヲモ卒ヘザルノ生徒ニシテ動モスレバ天下ノ政事ヲ談ジ、時ニ或ハ自ラ校則ヲ犯シナガラ職員処置ノ当否ヲ鳴ラシ、漫リニ抗争紛擾ヲ事トスルモノアリ。(中略)此情勢ヲ以テ荏苒推移スルトキハ、実業ヲ重ンゼズシテ漫リニ高尚ノ言論ヲ為シ、未熟ノ學術智識ニ依テ僥倖ヲ事トスルノ風ヲ長ジ、長上ヲ凌ギ社会ノ秩序ヲ紊乱シ、終ニ国家ヲ危フスルニ至ラントス。是レ智育ノ一方ノ進ミテ德育ノ兼ネ進マザルヨリ致ス所ノ弊ナリ。(中略)不肖等ノ見ル所ヲ以テスレバ、我国ニハ我国固有ノ倫理ノ教アリ。故ニ我国德育ノ主義ヲ定メント欲スレバ、宜ク此固有ノ倫理ニ基キ其教ヲ立ツベキノミ。(国立公文書館所蔵「公文雑纂」明治二十三年・第三十四巻・建白、第一号文書)

問1 傍線部①「文明開化」、傍線部②「普通教育」とはそれぞれどのようなものか。具体的に説明しなさい。

問2 史料1において、福沢は何を問題にし、どのようにすべきだと考えているか。当時の社会状況をふまえて、具体的に説明しなさい。

問3 史料2において、高崎ら地方官は何を問題にし、どのようにすべきだと考えているか。当時の社会状況をふまえて、具体的に説明しなさい。

問4 史料1、2全体をふまえて、どのようなことが考えられるか。自己の見解を述べなさい。

2025年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科 (博士前期課程)

比較社会文化学 専攻・ 歴史文化学 コース

外国人留学生用
日本史・専門科目試験

試験日: 2025年 2月 3日(月)

試験時間: 11時00分～13時00分

【注意事項】

- 1 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
- 2 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
- 3 受験者自身が専攻を希望する時代(古代史もしくは近代史)の問題を選択し、その時代の問題〔一〕〔二〕の両方に解答すること。
- 4 答案用紙二枚にはいずれも答えを縦書きにし、〔一〕について一枚、〔二〕について一枚使うこと。
それぞれ裏面まで使ってよい。

(古代史)

- 〔二〕 次の項目について、それぞれの歴史的意義を考慮しつつ、知るところを記しなさい。
ただし、解答は一つの用語につき、答案用紙の三～五行程度を目安に記述すること。

(1) 平城京

(2) 類聚三代格

(二) 次の史料を読んで、以下の問いに答えなさい。

①太政官符

禁_三断_②京職畿内諸国私作_二伽藍_一事

右_①奉_レ勅。定額諸寺。其教有_レ限。私_レ立_二道場_一。先_レ既立_レ制。比来所司寛縦曾不_二糾察_一。

如_③經_二年代_一無_二地不_レ寺_一。自今以後。私_レ立_二道場_一。及_レ將_二田宅園地_一捨施。并_レ売易与_レ

寺。主典以上解_二却見任_一。自余不_レ論_④陰_レ賈_一決_二杖八十_一。官司知而_レ不_レ禁者亦与同罪。

延暦二年六月十日

(『類聚三代格』延暦二年(七八三)六月十日太政官符)

問 1 波線部⑦～⑨をすべてひらがなで書き下しなさい。

問 2 傍線部①～③の語句の意味を説明しなさい。

問 3 この史料で禁止されたことは何か。また、その罰則は何か。それぞれ史料の内容を踏まえ、具体的に説明しなさい。

(日本近代史)

- (一) 次の項目について、それぞれの歴史的意義を顧慮しつつ、知るところを記しなさい。
ただし、解答は一つの用語につき、答案用紙の三〜五行程度を目安に記述すること。

(1) 幣原喜重郎

(2) 米騒動

〔二〕次の各史料を読んで、以下の問いに答えなさい（史料中、句読点等その一部を改変した）。

【史料1】明治十六年七月二十三日、福沢諭吉の論考（『時事新報』掲載）

日本の文明開化は少しく急進に過ぎたりとて、近來世間に一種の議論を生じ、其主張する所を聞けば、新様の廃す可きは之を廃し、旧物の復す可きは之を復し、漫に輕躁浮薄に走らざるを以て旨とするものゝ如し。

又其實際に現はれたる所を見れば、旧き漢字も廃す可きに非ずとて儒教主義を再興し、漢字再興すれば古学医流の死灰も亦再燃し、洋食洋服以て洋風の家に居るも殺風景なりとて漸く旧時の日本流に復り、琴棋書画骨董の遊樂は朝野上流の社会に行はれて、家庭の教訓には仁義忠孝を語り、春風秋月には詩歌の清会を催ふ等、人間万事古雅にして然かも其情の優しきは安樂太平の世に至極神妙のことにして見苦しからず。亦是れ文明の徴なれば、我輩固より異議なしと雖ども、一利あれば之に伴ふ一害を見るも人事の常にして、漢字再興と云へば不学無術の古学者流が漢字を教ふる傍に奇妙なる支那主義を説て直接間接に文明開進の妨を為し、春風秋月の樂に乗ずれば物理の実数を忘却して、琴棋書画の風韻は器械学の元素と全く相反対し、開明多事の日には有為の少年輩を誤るもの甚だ多し。事物の弊害を免るゝの難き、以て知る可し。

左れば急進の新様を棄てゝ旧物を復す可きを復するは我輩の賛成する所なれども、之を棄て之を復するの際に全く弊害なきものを択ぶは、我輩の最も賛成して之を聞見するも欣喜に堪へざる所のものなり。

（慶應義塾編『続福澤全集』第一巻、岩波書店、一九三三年、四八七頁）

【史料2】明治二十三年二月二十七日、高崎五六（各府県知事總代・東京府知事）意見書

（内閣總理大臣兼内務大臣山県有朋宛）

⑨普通教育ノ要ハ主トシテ国民タルノ徳性ヲ涵養シ普通ノ智識芸術ヲ修メシムルニ在リ。然ルニ現行ノ学制ニ依レバ智育ヲ主トシテ専ラ芸術智識ノミヲ進ムル事ヲ勉メ、德育ノ一点ニ於テハ全ク欠クル所アルガ如シ。故ニ小学ニ就学セル子弟ノ情况ヲ見ルニ、少シク博物ノ学理ヲ聴キ数学ノ初歩ヲ修メバ忽チ其智識芸術ニ誇リ、父兄ヲ輕蔑スルノ心ヲ生ジ、輕躁浮薄ノ風ヲ長ズ。其進ンデ高等小学校ヲ卒業スル者ノ如キハ、往々父祖ノ業ニ従事スル事ヲ屑シトセズ、或ハ官吏タラント欲シ、或ハ政事家タラン事ヲ志シ、尚進ンデ中学ニ入ルニ及ンデハ、未ダ其科程ノ半ヲモ卒ヘザルノ生徒ニシテ動モスレバ天下ノ政事ヲ談ジ、時ニ或ハ自ラ校則ヲ犯シナガラ職員処置ノ当否ヲ鳴ラシ、漫リニ抗争紛擾ヲ事トスルモノアリ。（中略）此情勢ヲ以テ在再推移スルトキハ、実業ヲ重ンゼズシテ漫リニ高尚ノ言論ヲ為シ、未熟ノ學術智識ニ依テ僥倖ヲ事トスルノ風ヲ長ジ、長上ヲ凌ギ社会ノ秩序ヲ紊乱シ、終ニ国家ヲ危フスルニ至ラントス。是レ智育ノ一方ノミ進ミテ德育ノ兼不進マザルヨリ致ス所ノ弊ナリ。（中略）不肖等ノ見ル所ヲ以テスレバ、我国ニハ我国固有ノ倫理ノ教アリ。故ニ我国德育ノ主義ヲ定メント欲スレバ、宜ク此固有ノ倫理ニ基キ其教ヲ立ツベキノミ。（国立公文書館所蔵「公文雑纂」明治二十三年・第三十四卷・建白、第一号文書）

問1 傍線部①「文明開化」、傍線部②「普通教育」とはそれぞれどのようなものか。具体的に説明しなさい。

問2 史料1において、福沢は何を問題にし、どのようにすべきだと考えているか。当時の社会状況をふまえて、具体的に説明しなさい。

問3 史料2において、高崎ら地方官は何を問題にし、どのようにすべきだと考えているか。当時の社会状況をふまえて、具体的に説明しなさい。

問4 史料1、2全体をふまえて、どのようなことが考えられるか。自己の见解を述べなさい。

2025年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻 ・ 歴史文化学 コース

一般入試・外国人留学生入試
専門試験（アジア史）

試験日： 2025年 2月 3日(月)

試験時間： 11時00分～13時00分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 答案用紙の裏面を使用して良いが、上部を10cm以上空けること。

2025 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学専攻 歴史文化学コース

一般入試・外国人留学生入試 アジア史専門科目試験

* 答案用紙は、各問に一枚ずつ（計 3 枚）を用い、問題番号を記すこと。

問 1 あなたがこれから行う研究分野のうち、重要と思われる先行研究やその問題点を挙げた上で、自分の研究のオリジナリティ（目的、方法など）は何かについて述べなさい。

問 2 あなたが専攻する時代、地域において、社会もしくは経済の分野で大きな変化があった時期をとりあげ、その変化の内容について説明しなさい。

問 3 次の事項のうち、任意の 5 点を選んで、簡潔に説明しなさい（各 3 行程度）。

冊封体制

漢委奴国王印

明の北京遷都

後期倭寇

クルアーン

ハディース

イスラーム法（シャリーア）

イスラームにおける預言者

**2025年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）**

比較社会文化学 専攻 ・ 歴史文化学 コース

（一般入試・外国人留学生入試）

（美術史・専門試験）

試 験 日 ： 2025 年 2 月 3 日(月)

試 験 時 間 ： 11 時 00 分 ～13 時 00分

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで問題を開けないこと。
2. 解答は問題毎にそれぞれ別の答案用紙に解答すること。

2025 年度 比較社会文化学専攻

歴史文化学コース 美術史専門試験問題

解答は指定された答案用紙に記入すること。

〔問題 1〕

A, B 両群の語句、人名について、各群合わせて5項目（ただし西洋美術史専攻希望のものはA群から3項目、B群から2項目、また東洋、日本美術史専攻希望のものはA群から2項目、B群から3項目）選択し、それぞれ美術史学的な立場から簡潔に説明しなさい。B群については読み仮名も記すこと。

- A 群： 1. ギュスターヴ・カイユボット (Gustave Caillebotte)
2. システィーナ礼拝堂
3. 古典主義
4. マリー・ローランサン (Marie Laurencin)

- B 群： 1. 一木造り
2. 鶴下絵三十六歌仙和歌巻
3. 信貴山縁起絵巻
4. 長谷川等伯

〔問題 2〕

西洋美術におけるアカデミーとサロンについて、そのあり方や役割、影響など自由に論点を選んで、具体的な事例をあげながら美術史的に論じなさい。

〔問題 3〕

日本・東洋美術における植物の表現について、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

2025 年度 比較社会文化学専攻

歴史文化学コース 美術史専門試験問題

選択問題フランス語

以下の問題は、西洋美術史を志望する者のうちフランス語を選択する者が解答しなさい。

〔問題 1〕 次のフランス語を読んで、全文を和訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(出典：Sylvie Buisson, «Femmes, artistes, inspiratrices inspirées » dans *Suzanne Valadon, Jacqueline Marval, Emilie Charmy, Georgette Agutte, Les femmes peintres et l'avant-garde, 1900-1930*, Paris, Somogy, 2006, p.29.)

2025年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻 ・ 生活文化学 コース

（一般・外国人留学生入試）

（ 専 門 試 験 ）

試 験 日 ： 2025 年 2 月 3 日(月)

試 験 時 間 ： 9 時 30 分 ～ 11 時 30 分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. それぞれの答案用紙に、必ず問題番号を記入すること。

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科(博士前期課程)
比較社会文化学専攻 生活文化学コース

2025 年度 2 月入試

専門試験

問 題

次の4問の中から2問を選択して解答しなさい。答案用紙は設問ごとに1枚を使用しなさい。

問1

13 世紀半ばから 15 世紀までのヨーロッパにおける服飾流行について、具体例をあげて論じなさい。

問2

19 世紀から 20 世紀にかけ、さまざまな技術革新とともに世界各地で「速さ」が重視されていったが、その一方で「遅さ」にも積極的な意味が見出されるようになっていった。「遅さ」を重視する文化運動としてどのようなものがあり、そこではどのような価値が目指されているだろうか。具体例をあげて論じなさい。

問3

漂泊民について論じなさい。

問4

過去の服飾のかたちや色は、どのような資料から窺い知ることができるか。またそれぞれの資料がもつ可能性と限界について、日本服飾史の事例から具体例をあげて論じなさい。

2025年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻・舞踊・表現行動学 コース

（一般入試・外国人留学生入試）
（専門試験）

試 験 日 : 2025 年2月3日(月)

試 験 時 間 : 9時30分 ～ 11時30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. それぞれの答案用紙に、必ず解答する問題番号を記入すること。

2025年度お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
比較社会文化学専攻 舞踊・表現行動学コース 2月入試
（一般入試・外国人留学生入試）

【専門試験】

1. 【共通問題】（40点）

高齢者が実践するダンスや身体表現の可能性について、具体的な事例を挙げて、高齢者の健康やウェルビーイングの観点から論じなさい。その際に、ダンスが他の運動やスポーツとは異なる独自性についても論じなさい。

2. 【選択問題】

以下の（１）～（５）の問題の中から、任意の２題を選択して解答しなさい。解答にあたっては、それぞれ別の答案用紙を用い、答案用紙の問題番号欄に問題番号を必ず記入すること。

（30点×2題＝60点）

（１）古代ローマにおいては現代の「見るスポーツ」と類似した娯楽が提供されていました。そのような娯楽を一つ以上あげ、現代の「見るスポーツ」との類似点、相違点について具体的に説明しなさい。

（２）ダンサーの傷害発生リスクの内的および外的要因を挙げ、それぞれにできる対策について具体的に説明しなさい。

（３）民族舞踊における目の表現の特性について、事例を挙げて説明しなさい。

（４）「ジャドソン・ダンス・シアター」とは何かについて、そのグループの概要とそこに含まれる舞踊家の試みや活動を1名挙げて説明しなさい。

（５）我が国の教育機関におけるダンス授業においては、どのように成績評価を行うかが課題となっている。ダンス授業における成績評価のどのような点が課題であるか考えるかを述べ、あなたが中学校の教師であった場合、ダンス授業において何を重視して評価を行うか、具体的に説明しなさい。

2025 年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
比較社会文化学専攻・音楽表現学コース

一般入試・外国人留学生入試

専門試験（外国語を含む）

試験日： 2025 年 2 月 3 日（月）
試験時間：9 時 30 分～12 時 00 分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 答案用紙は、【Ⅰ】、【Ⅱ】、【Ⅲ】のそれぞれに 1 枚ずつ使用すること。

【I】 次の10項目から5つを選択し、その番号を記して、それぞれ2～3文程度で簡潔に説明しなさい。

1. ミサ固有文
2. ボエティウス
3. ディエス・イレ (Dies irae)
4. イデー・フィクス (idée fixe)
5. テトラコルド
6. 雅楽寮
7. 三曲
8. 宮城道雄
9. 素浄瑠璃
10. 黒御簾音楽

【Ⅱ】 次の英文を読んで、問いに答えなさい。(問題文は原文から一部改変しています)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(Cook, Nicholas. 2021. *Music: A Very Short Introduction*, Oxford University Press, 55-58.)

- 問1 下線部 (1) について、**this** の意味を明らかにして、適切な日本語に訳しなさい。
- 問2 下線部 (2) について、**fluidity** の意味を具体的に明らかにして、適切な日本語に訳しなさい。
- 問3 下線部 (3) を適切な日本語に訳しなさい。
- 問4 下線部 (4) を適切な日本語に訳しなさい。

【Ⅲ】 次の英文を読んで、問いに答えなさい。(問題文は原文から一部改変しています)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(Nettl, Bruno. 2015. *The Study of Ethnomusicology: Thirty-Three Discussions*. University of Illinois Press, 158-159.)

問1 下線(1)を適切な日本語に訳しなさい。

問2 下線(2)を適切な日本語に訳しなさい。

問3 なぜ筆者は下線(3)のように問うのか。本文に即して、筆者の考えを説明しなさい。